

阪神・淡路大震災の経験を活かして、
兵庫県への避難民一人ひとりに寄り添う支援が行われています。

兵庫県では、皆さんよりいただいた寄附金を活用し、これまでにのべ66組126名の避難民の方への支援を行ってきました。支援の現場を担うのは公益財団法人 兵庫県国際交流協会とNPO法人 多言語センターFACILの皆さん。阪神・淡路大震災で互いに手を取り助け合った経験や組織・制度づくり、またそれらを行政やNPO、民間が連携して行った兵庫県の経験を活かして、本県への避難民の方一人ひとりに寄り添う支援活動を展開しています。



自立に向けたセミナー

自立支援

戦禍が長引く中、避難民の方へ、就業などを見据えた新たな生活基盤を築くためのセミナー開催などを行っています。



衣料配布

生活支援

日本に連れて来てすぐの避難民の方には、住宅や生活物資の他、病院や役所へ通う際の支援など、日常の困りごとを中心にサポート。公民連携による物資支援も数多く行われました。

コミュニティ支援・地域交流

避難民同士、また避難民と地域住民をつなぐ目的でバスツアーや夏祭りなどのイベントを開催。避難民の方にとって、貴重な情報交換や癒やしの場となっています。



多可町バスツアーでの紙すき体験



有馬温泉バスツアーでの源泉見学

支援に携わる皆さんにお聞きしました。

公益財団法人 兵庫県国際交流協会

戦争が始まった3年前、兵庫県は全国に先駆けて支援金制度をつくりました。それができた理由は、阪神・淡路大震災で得た経験です。今後も避難されている方々に寄り添っていきたく思います。兵庫県には約160カ国・地域にルーツを持つ13万人を超える方が住んでおり、ともに地域を形成し発展させていく県民です。ただ助けるといって「多文化共生」の街として、ウクライナをはじめ多くの外国人県民がともに共生する社会を、皆が意識し、成熟していくことを願っています。

専務理事 横川 太

NPO法人 多言語センターFACIL (ファシル)

私も避難民の一人で、日本語学校に通った経験から、FACILで避難民を助けるSNSの窓口となったり、実際に通訳をしたりしています。いつか帰国するつもりで、ウクライナの仕事(日本のマンガの翻訳)も続けてきましたが、戦争が長引けば、日本で仕事を見つける必要があります。でも、将来どうなるのか、分からないことが多いです。

ウクライナ避難民支援事業担当
ボレレジニック ミコラ

「普段、国のことを考えても心配ごとしかない。子どもの将来も見えない。それを一時でも忘れられ、みんなで楽しめるのがとてもありがたい。」コミュニティ形成のバスツアーに参加されたある避難民の方の言葉です。一口に避難民といってもその境遇は様々。大きな悩みを抱えながら、お互いに分かち合うことも難しい彼らに、しっかりと対話を重ねながら寄り添いたいと思います。

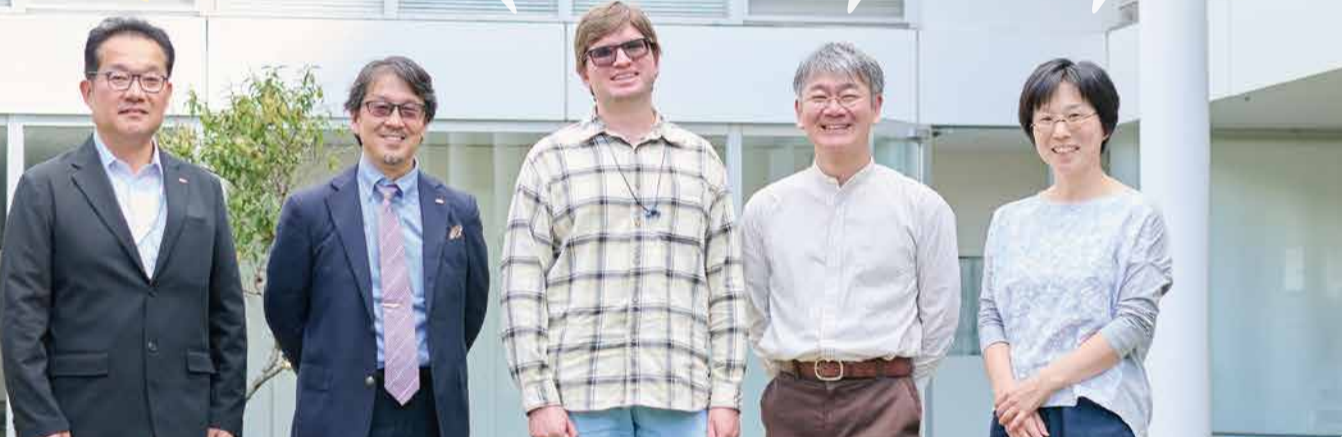
コーディネーター・理事 村上 桂太郎

避難民の方=支援を受ける人と考えがちです。でも、かつての震災で、隣の外国人にがれきりの中から助けられたという方もいます。一緒に暮らしていれば、外国人の方も、ともに助け合う仲間になっていくということを私たちは知ったはず。そんな経験を持つ兵庫県だからできる支援の輪が広がると良いですね。

理事長 李 裕美

これまで34世帯の方に支援金をお渡ししました。皆さん感謝され、中には涙される方もいました。戦争が終われば帰るの支援は1年間もいらぬという声もありましたが、最近の戦況では、そういう声も消えつつあります。公民連携により、避難民の方のこれらを変えず支えていきたく思います。

交流・協力課長 永田 展之



兵庫県だからできる、ウクライナ復興支援を。
皆さまの寄附のご協力をお願いいたします。

ひょうご
ウクライナ支援
プロジェクト
for UKRAINE from HYOGO

1,000円単位
できる寄附は
コチラから



ウクライナ復興支援への寄附は
一口1,000円からでも寄附できます!

寄附金の用途

リハビリ、こころのケア分野の人材育成支援や、本県への避難民に対する生活支援を実施します。また、子ども・学生同士の交流や文化・芸術交流等の支援も検討してまいります。

寄附のメリット

ふるさと納税として住民税控除などの対象となります。

小学生時代、芦屋市に住んでいたので文字通りのふるさと納税。しかもウクライナ避難民の方のために兵庫県が行う支援に協力できるのは嬉しい限りです。
— 神奈川県在住

ウクライナ避難民の方が、生活の中でヘルプが必要な時に助けてあげられるボランティアの募集や環境整備などに利用されればと思います。
— 埼玉県在住

長く支援を続けられている兵庫県を応援しています!
— 千葉県在住

寄附をいただいた方からの応援の声届いています。

ふるさと納税の使い途として、ウクライナ支援があることに共感して寄附させていただきました!
— 東京都在住

ウクライナ支援を、今後も続けてください。
— 千葉県在住

避難民の方が、一日も早く平穏な暮らしに戻れることを祈っています。
— 長野県在住

ウクライナ避難民の方だけでなく、ウクライナの「平和活動」に役立ててください。決して戦争関係には使わないで。
— 東京都在住

ひょうご
ウクライナ支援
プロジェクト
for UKRAINE from HYOGO



詳しくは

ひょうごウクライナ支援プロジェクト

日本のとなりのとなりの国「ウクライナ」に、 私たちができることが、きっとある。

皆さんは、どのくらいウクライナのことをご存じですか？ 僕が初めてウクライナを訪れたのは、高3の冬。首都・キーウの美しい大聖堂や、陽気な人々に魅了された。大袈裟に言えばその時、僕はウクライナに恋をしたのかもしれない。ウクライナは遠い国に思えるけれど、ロシアを挟んで「隣の隣の国」だ。そう聞くと、身近に感じられないだろうか。戦争が終息し、平和な日常が戻ってきたら、ぜひウクライナを訪れてほしい。美しい風景、美味しい食べもの、人々の明るい笑顔があふれる、とてもステキな国だから。

岡部 芳彦
Yoshihiko Okabe

兵庫県生まれ。神戸学院大学経済学部教授、国際交流センター所長、在神戸ウクライナ名誉領事。政治・経済・文化などのウクライナ研究、日本・ウクライナ交流史が専門。ウクライナ国立農業科学アカデミー初の外国人会員。日本人とウクライナ人の交流史に関する著書を続けて刊行しているほか、ウクライナの詩集や民話の日本語への翻訳も行っている。ウクライナ内閣名誉賞、ウクライナ最高会議名誉賞、ウクライナ大統領府属国家行政アカデミー名誉教授などを授与される。



The number of support for Ukraine

避難民の来県状況

66組126名
(2024.9.30時点)

これまでのべ66組126名の方が兵庫県に避難され、既に国外や県外へ転出された方を除くと、2024年9月末現在で102名の方が兵庫県内で生活されています。

数字で知る

これまでの
兵庫県の
ウクライナ支援

ふるさとひょうご寄附金 「ウクライナ支援プロジェクト」 寄附状況

5,845件
1億562万円
(2024.9.30時点)

2022年3月から始まった寄附金の累計は、2024年9月30日時点で1億円以上となり、日本全国の方から寄附をいただいています。寄附金はこの紙面でご紹介する様々な活動に使われています。

日常生活コーディネーター
対応件数

574件
(2024.9.30時点)

日常生活コーディネーターをNPO法人 多言語センターFACILに置き、避難民の方に対し、通訳などの日常生活支援、日々の生活での困りごとの相談対応などを行っています。

一日も早く
平和な
ウクライナに!

Дякую

私たちは
ひょうごウクライナ
チャリティ大使として
活動しています。



兵庫県だからできる、「創造的復興」支援に取り組んでいます。

▶「創造的復興」とは

阪神・淡路大震災からの復興過程で提唱された、単に災害発生前の状態に戻すのではなく、災害前よりもより良い社会づくりを行うという考え方。兵庫県だからこそできる支援を行うため、この理念を活かした支援を2023年より検討開始し、2024年にとりまとめた提言書を在日ウクライナ大使館に伝達・説明しました。



2024.7.17/駐日ウクライナ大使への提言書の手交式

▼ これまでのウクライナ支援の取り組み ▼



2024.2.23
ウクライナ支援のシンポジウムを開催。コンサートも実施。

2024.7.17
在日ウクライナ大使館にて、提言書の手交式を実施。

2024.8.1/8.9
覚書を締結したウクライナ・イヴァーノフランクィウシク州およびミコライウ州とオンライン会議を行い、提言書の内容を伝達・説明。

2024年9月、リハビリ技能などを学ぶためにウクライナから8名の専門家が来県されました。

戦禍が続くウクライナでは、数多くの負傷した兵士や一般の方が、治療やリハビリを必要としています。特に人々を社会へ復帰させるためのリハビリは、ウクライナの復興にもつながる重要な課題です。2024年9月、ウクライナから理学療法士等の専門家8名が、兵庫県立総合リハビリテーションセンターを訪れました。日本のリハビリテーションの現場を見学し、またウクライナのリハビリ現場の状況や問題点、ニーズについて、日本の専門家らと意見を交わしました。



視察の感想と、寄附者の皆さんへのメッセージ

患者さんが自立して生活できるようにするための家のリフォーム技術などに関心を持ちました。また、福祉サービス、ソーシャルワーカーの協力的な体制も非常に興味深かったです。
— トツク・アンナさん

理学療法士や作業療法士がどのように患者さんと接しているのかを実際に見ることができ貴重な体験でした。
— スコプリャク・ベトロさん

寄附をいただいた方から感謝します。その価値を十分に理解し、このような研修を多くの患者が利益を得る形となるように務めます。
— セメネコ・イリーナさん



good!
これイイナ!

文化・アート 篇

ウクライナを知る入り口としては、色彩豊かで繊細、美しくかわいい文化・アートの分野もオススメ!

1位

民族衣装
ヴィシヴァンカ

花柄や動物柄の美しい刺繍が入った民族衣装「ヴィシヴァンカ」。これを着ることで文化・伝統への愛着を示します。



2位

ピサンカ
イースターエッグ

卵の殻に、カラフルで緻密な絵柄をつける「ピサンカ」。願いを込めてお守りにしたり、互いに贈り合ったりします。



3位

民話「てぶくろ」

ベストセラー絵本「てぶくろ」は、実はウクライナ民話。動物たちの愛らしい物語を覚えている方も多いのでは?



兵庫県とゆかりのあるウクライナの方たちに聞きました!
日本の人たちに
ウクライナのココ
推したイナ!

食べたイナ!
郷土料理 篇

1位



ボルシチ
野菜・肉のスープ

最も有名なウクライナ料理の一つ。赤いスープのもとになるビーツ、お肉やジャガイモ、豆や野菜を煮込んだ伝統的な家庭料理。

2位



チキンキーウ
鶏肉のカツカツ

ハーブやにんにくで味付けしたバターを鶏肉で巻き、パン粉を付けて揚げた料理。ジュワ〜とあふれるバターがたまらない!

3位



グヴァレニキ
ウクライナの水餃子

水餃子に似たウクライナの定番家庭料理。肉、ジャガイモ、チーズ、キノコ、ジャムなど、様々な具材で食事にもデザートにも。

話したイナ!
ウクライナ語 篇

1位

Привіт
ブリヴァイト

やあ

ウクライナに親しみたいと思ったら、手始めにあいさつなど、気軽に使えるウクライナ語を覚えてみてはいかが?

友だちや仲の良い人に、カジュアルに使えるあいさつの言葉。

2位

Дякую
ダークユ

ありがとう

感謝を伝える基本の言葉。知っているか距離が縮まりますね。

3位

Смачно
スマーチノ

おいしい

美味しい笑顔は世界の共通語。一言添えればより仲良くなるかも。